





# 詩の時間

仲間の人生模様を聞きながら  
吾自身の人生を和イと織りまぜて  
詩をつくる。若く若様の人生模様は  
百花隆乱、痛々しいもの、哀しいもの、  
楽しいもの、怒りのエネルギーにあふれたもの、  
とてもいやな味が食った生き生きとしたので  
申し訳ないとは思いつつ 軽くペ-2の味を  
加工 詩をつくる なんとつ泣かなく歌う  
作品となる。でも何故か 温まるよ心が。  
— 号田雄 —

【ひと花旬会 今月の俳句】

寒空に 鬼を追い出し 後悔す (呆人)

赤鬼が お金おとして 青い顔 (池之辺)

福豆を 数えて悲し 若いにけり (楚孝)

(楚孝)



ハレンタイン もらった頃は

髪長し (赤鬼)

ソチ五輪 最後のたのみ 高梨サヲ

(やな童)

節分や

なまはげあはれ 童子泣く (善人)

幼き頃

雪だるま作り

遊びけり

(歌人)



## ひと花旬会



俳句の合は来いんです  
お酒の好きは人はお酒の句を  
まよめな人はまよめ句を  
楽しい人は楽しい句を  
句を見た目で誰の作か  
分まらぬはまよめ句  
私は下年な句か分まらぬ  
せめても、それを食ひ合  
てくれして、ありさう。  
— 号田雄 —



## 土と戯る

### 大地水火気緯の地球に感謝 池田

- ① 土を耕す事は田返すと言ひ、田火畑に作物を植ふる準備として田火畑を掘り返す事です。土は自然の一部ですが愛情をこめて土に培う事は土も答えてくれるよい土に成ります。蓋同様に一度は天地返しを心掛ける無いと土が締まって硬くなり、植物にとってはよい土は認めません。
- ② 天地返しとは土の表層部と下層部とを入れ替えるため深く耕す事です。天地返しは土の中に空気と栄養を均等に与える役目をします。植物は根から酸素、水分、栄養を吸収し、葉から太陽光で光合成をして酸素を排出して育つのです。野菜も地球の空気浄化作用の役を担っています。天地返しは農業の基礎ですのでおかしな掛けるつもりです。



楽しい絵本の  
読み合わせ会

① 土を耕す事は田返すと言ひ、田火畑に作物を植ふる準備として田火畑を掘り返す事です。土は自然の一部ですが愛情をこめて土に培う事は土も答えてくれるよい土に成ります。蓋同様に一度は天地返しを心掛ける無いと土が締まって硬くなり、植物にとってはよい土は認めません。

### ガード下のキリスト 岡本 元晴

その日も上司とおさけをのんで おそくなりました  
いつものガード下をどうも まんながごうまでくると 教会の3スター  
3人がかなあみにむかつ おいのりをしていました。  
3スターの足元を見ると、ダンボールにキリストとじゆいのえを  
かけた物があり、白りまくの花束が置いてありました。  
ぼくは なにか ありましたかと きくと年をとった 3スターが  
いつも こゝで かなあみの目を かぞえている、白りまけのおとうさんが  
あさのさむさでい とうししたと言ひます。  
ぼくは びっくりして3スターにいろいろ しもんを しました。  
あのヒゲのおとうさんは あさと夕方、教会で おつたいでして パンも  
もらっていたそうです。  
年は70才で大会社の社長をしていた そうです。  
バブルがはじけて 少しあたまが おかくなって こゝにすみついたので、  
ぼくは なんでもかなあみの目を かぞえているのかと きくと  
あの人はせいしゅうの1じゆうから、おわりまで、の おしえをブツブツ  
いいながら かぞえていたそうです。  
ぼくは あの せいしゅうをせんが、あんまり、いるときいてびっくりしました。  
3スターにわか水をつけ、ガード下をでると雪がふりかきました。  
今日は12月24日です。  
あのヒゲのおとうさんが 今日 なくなったのも かみさまの おみぢべき  
かもしれません。  
ぼくも手を あわせて ひげのおとうさん 天国でしらせになって下さいとい  
いのりました。(完)

絵本の読み合わせ会から  
ひと花 小説 ③ ☆



紙芝居劇について  
WS 読み合わせ会の中で、絵本の読み合わせしたり  
紙芝居を演じたりしていますが、どちらか一人ずつやる方が  
多かったです。同時に多数参加出来る紙芝居を  
やってみようと考え、今回の紙芝居「おじや姫」を作  
りました。昔物語りの絵本を参考にし、セリフを振り分け  
し追加し紙芝居しました。次回は独自の作品を  
作ってみようと思っています。  
(H.Y)

